

お客様へ

- 施工は必ず専門業者へ依頼してください。
- 本取扱説明書は、大切に保管しておいてください。
- ご不明な点は、巻末に記載されている営業窓口へお問い合わせください。

施工業者様へ

- 施工前に本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

1.はじめにお読みください(正しく安全に使用いただくために)

本製品は、防火区画貫通部耐火措置工法部材です。それ以外の用途には使用しないでください。

■表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分しています。

 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があります。
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性があります。

■お使いになる人や他の人へ危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

 警告	国土交通大臣認定書の仕様に基づき、正しく施工してください。 正しい施工を行わないと火災時に延焼のおそれがあります。 国土交通大臣認定書については、右記のQRを確認してください。	国土交通大臣 認定書 
 注意	作業時は、作業用手袋などを着用してください。	

お願い

※下記が守られなかった場合、製品の想定する機能・性能が発揮されない可能性があります。

- 下記のQRより適用範囲概要を確認してください。
- サイズ選定の際には、占積率および配管束外径を共に満たすことを確認してください。
- 袋入り充てん材、樹脂製スリーブ、支持金具は取り外さずに使用してください。
- 支持金具は切断せずに使用してください。
- 袋入り充てん材は付属の部品を取り外したり、破らずに使用してください。
- 袋入り充てん材の内部には補強シートが入っているため、施工前は過度に変形させないでください。
- とがったもので押し込まないでください。袋が破れ、充てん材が流出する可能性があります。
- 中空壁施工には板厚0.25mm以上の鋼製スリーブが必要です。
- 片壁施工には板厚0.25mm以上で、壁面に固定可能な鋼製スリーブが必要です。鋼製スリーブの固定には必ず、市販のφ3.8×28L以上のビスで2箇所以上固定してください。
- 区画貫通部で配管などが動かないように近傍でしっかりと固定してください。不十分な場合は袋入り充てん材にすき間が生じる可能性があり、耐火性能が発揮できません。
とくに縦引きの冷媒管の場合は、配管長の中央部に「パイブロックTK」を使用して配管を支持してください。
- 樹脂製スリーブをビスで固定する場合、市販のφ3.8×25L以上のビスで2箇所固定してください。
- 低温での施工時は樹脂製スリーブを過度に変形させないように、注意してください。
- 屋外で使用する場合は、紫外線、雨水などが当たらないように処置を施してください。

適用範囲概要



<https://www.inaba-denko.com>



因幡電工カンパニー
因幡電機産業株式会社

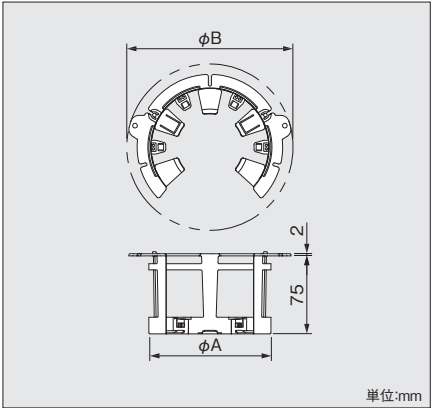
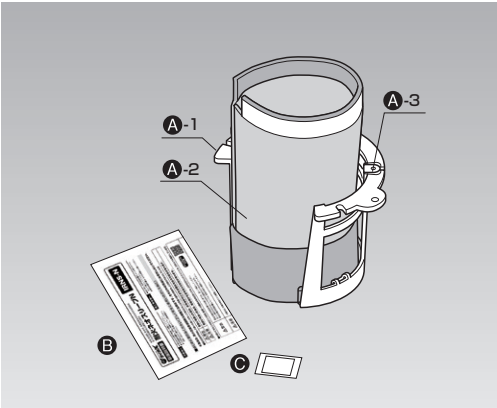
INABA DENKO
Webサイト



INABA DENKO
営業所一覧



2.仕様



■ セット内容

記号	部品名		材質	数量
A	耐火ネオスリーブN IRNS-N	A-1 樹脂製スリーブ	PP	1
		A-2 袋入り充填材	—	
		A-3 支持金具	SGCC	
B	取扱説明書		—	1
C	国土交通大臣認定品表示シール		—	1

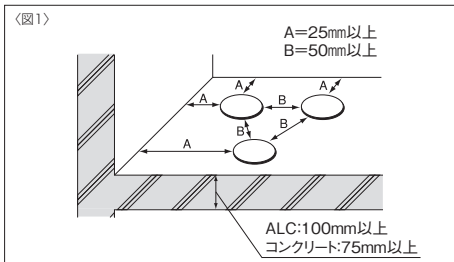
■ 寸法表

型番	適合貫通穴 呼び径(穴径)	寸法(mm)	
		φA	φB
IRNS- 50N	φ50～φ55	66	110
IRNS- 75N	φ75～φ80	92	135
IRNS-100N	φ100～φ110	117	160
IRNS-125N	φ125～φ135	149	195
IRNS-150N	φ150～φ160	167	218

3. 施工手順(床)

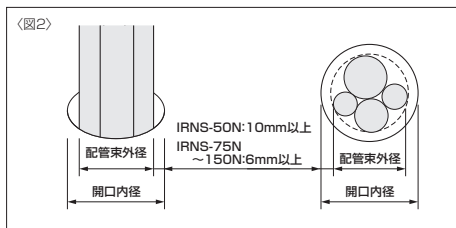
1. 貫通穴を設ける

穴間ピッチを考慮の上、製品サイズに適合した貫通穴を設けてください。〈図1〉



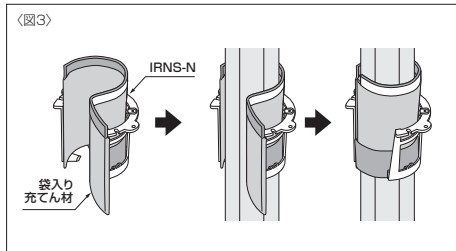
2. 配管・ケーブルの設置

施工する配管・ケーブルの束は、〈図2〉の寸法内に収まるようにしてください。

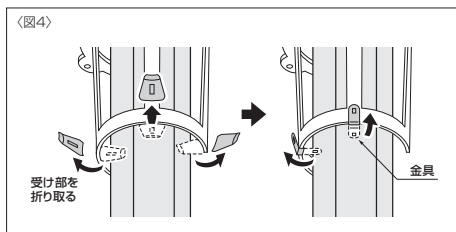


3. 耐火ネオスリーブIRNS-N(以下IRNS-Nと称す)の取り付け

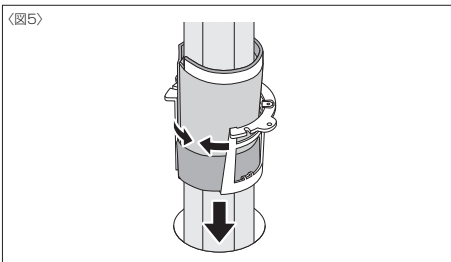
3-1. 袋入り充填材の端部を広げ、配管束にIRNS-Nを取り付けてから、配管束に袋入り充填材を巻き付けます。〈図3〉



④ 占積率が高い場合(目安38%以上)、樹脂製スリーブの受け部を折り取り、内部の金具を外側へ折り曲げてから配管束に巻き付けてください。〈図4〉

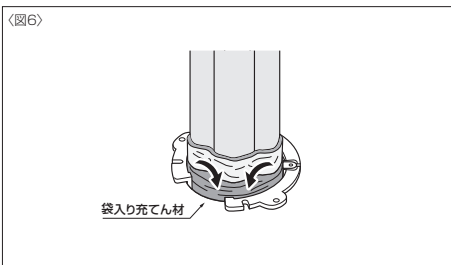


3-2. IRNS-Nを開口径に合わせて径を縮めながら挿入してください。〈図5〉



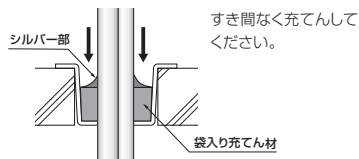
⑤ 開口内に挿入しにくい場合は、樹脂製スリーブの受け部を折り取り、内部の金具を外側へ折り曲げてから配管束に巻き付けてください。〈図4〉

3-3. 袋入り充填材を開口内にすき間なく詰めてください。〈図6〉

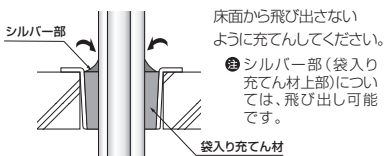


仕上がりイメージ 断面

配管量が少ない場合



配管量が多い場合

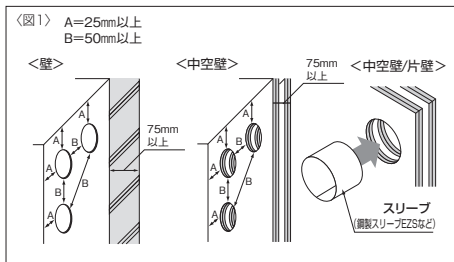


⑥ 床面にIRNS-Nを固定する場合は、市販のφ3.8×25L以上のビスで2箇所固定してください。

4. 施工手順(壁・中空壁・片壁)

1. 貫通穴を設ける

穴間ピッチを考慮の上、製品サイズに適合した貫通穴を設けてください。〈図1〉

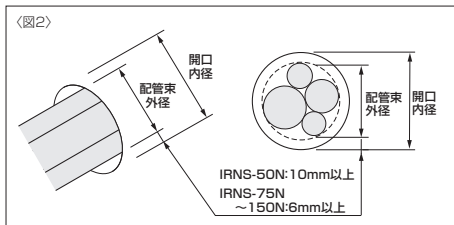


※中空壁の場合は、厚さ0.25mm以上の鋼製スリーブまたは金属板を挿入してください。(弊社製品「EZS」「EZSN」推奨)

※片壁の場合は、板厚0.25mm以上で、壁面に固定可能な鋼製スリーブまたは金属板を挿入し、市販のφ3.8×28L以上のビスで2箇所以上固定してください。(弊社製品「EZSN」推奨)

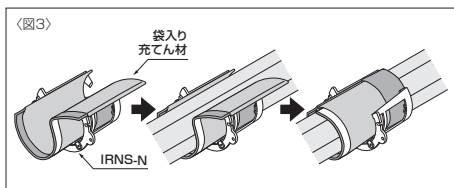
2. 配管・ケーブルの設置

施工する配管・ケーブルの束は、〈図2〉の寸法内に収まるようにしてください。

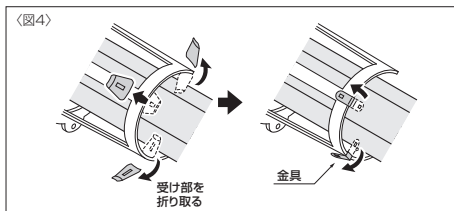


3. 耐火ネオスリーブIRNS-N(以下IRNS-Nと称す)の取り付け

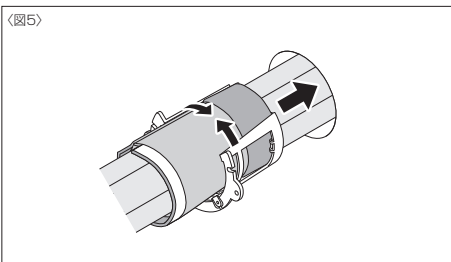
3-1. 袋入り充てん材の端部を広げ、配管束にIRNS-Nを取り付けてから、配管束に袋入り充てん材を巻き付けます。〈図3〉



① 占拠率が高い場合(目安38%以上)、樹脂製スリーブの受け部を折り取り、内部の金具を外側へ折り曲げてから配管束に巻き付けてください。〈図4〉

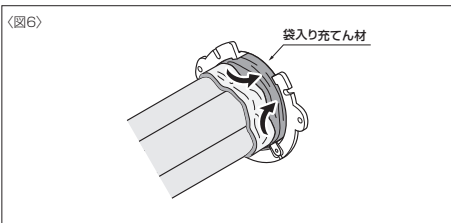


3-2. IRNS-Nを開口径に合わせて径を縮めながら挿入してください。〈図5〉



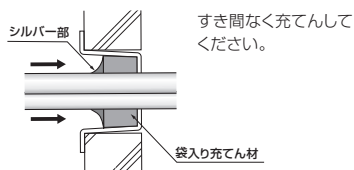
② 開口内に挿入しにくい場合は、樹脂製スリーブの受け部を折り取り、内部の金具を外側へ折り曲げてから配管束に巻き付けてください。〈図4〉

3-3. 袋入り充てん材を開口内にすき間なく詰めてください。〈図6〉

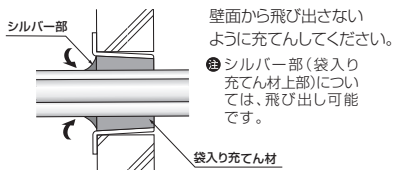


仕上がりイメージ 断面

配管量が少ない場合



配管量が多い場合



③ 壁面にIRNS-Nを固定する場合は、市販のφ3.8×25L以上のビスで2箇所固定してください。